別紙１（様式第１号・第２号関係）

**事　業　実　施　計　画　書**

１．申請者の概要（補助事業者の名称は採択後、公開します。）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 名称 |  | | |
| 代表者名 | （役職名）　　　　　　　　　（氏名） | | |
| 本社所在地 | 〒 | | |
| 本事業実施場所所在地 | 〒 | | |
| 資本金 | 万円 | 従業員数 |  |
| 設立年月日 |  | 業種 |  |
| 主たる業務内容 |  | | |

　※業種は、日本標準産業分類・中分類で記載してください。）

【確認事項】（相違なければ、□内に✓印を入れてください。）

みなし大企業に該当しない。

※みなし大企業とは、次に掲げる事項に該当する場合をいう。（交付要領第3条）

ア　発行済株式の総数または出資価額の総額の２分の１以上を同一の大企業が所有しているもの。

イ　発行済株式の総数または出資価額の総額の３分の２以上を大企業が所有しているもの。

ウ　大企業の役員または職員を兼ねている者が、役員総数の２分の１以上を占めているもの。

２．事業計画の概要

（事業計画名は事業内容を的確に表現した内容を記載してください。事業計画名、概要は採択後、公開します。）

|  |  |
| --- | --- |
| 事業計画名 |  |
| 概要  （２００字以内） |  |
| 補助対象期間 | 交付決定日　～　　　年　　月　　日 |

３．事業計画の内容　（適宜広げてください。ページが増えても結構です。）

（１）現状および課題等

|  |  |
| --- | --- |
| 事業実施の背景及び目的 |  |
| 現状の課題  （上記目的を達成するために解決すべき課題） |  |
| （２）具体的な取り組み内容等 | |
| 目標・期待される効果 | （課題を踏まえ、達成すべき経営改善目標の項目、具体的数値目標など。複数可） |
| 具体的な取り組み内容  （記載内容例）  ・AI・IoTを活用した仕組みの構築の必要性  ・具体的な仕組みの内容：構築する仕組みが分かり易いように、全体構成図、  導入（購入、借用）する機器、ソフトウェア、通信方式  など  ・上記内容と目標達成手段との関係性など  ・上記の目標・期待される効果との関連性 |  |
| 委託内容および委託先  （選定理由なども） |  |
| 主な購入(借用)機器・部品・パッケージソフトウェア等の内容および購入(借用)先 |  |
| 技術指導者の氏名および内容 |  |
| 実施体制（社内・社外含む） |  |
| 事業成果の自社での更なる展開の予定  （更なる本格導入、他システム導入や他との連携など） |  |

（３）実施スケジュール



４．補助事業経費内訳書

　※別紙1aのExcel表を活用ください。

※下記Word表は参考のためExcel表で作成願います。

（参考）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(単位：円)

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 経費区分 | 種別・仕様等 | 数量 | 単価 | 補助事業に要する経費  （消費税含む） | 補助対象経費  （消費税除く） | 補助金申請額 |
| 機器・部品・ｿﾌﾄｳｪｱﾊﾟｯｹｰｼﾞ費 |  |  |  |  |  |  |
| 小計 |  |  |  |  |
| サービス利用費 |  |  |  |  |  |
| 小計 |  |  |  |  |
| 委託費 |  |  |  |  |  |
| 小計 |  |  |  |  |
| 技術指導費 |  |  |  |  |  |
| 小計 |  |  |  |  |
| 合　　計 | |  |  |  |  |  |

・「種別」とは機器名、部品名、工具器具名、資材名などの品名

・「仕様」とは、それぞれの型式、性能、構造等

・「補助事業に要する経費」とは、事業実施に必要となる経費を意味し数量に単価を乗じた金額を記入すること。記載金額は見積による確認等、可能な限り正確な金額を記載すること。

・「補助対象経費」には「補助事業に要する経費」のうち、補助対象となる経費を記入すること。

・「補助金申請額」は「補助対象金額」に補助率1/2を乗じた額以内で上限１５０万円以下とする。

補助金申請額は、補助金の合計額の千円未満を切捨てた額とする。